

劇映画「いのちの山河」 西和賀支援会議を設立

劇映画「いのちの山河」西和賀支援会議の設立総会が7月1日夜、湯本のホテル対龍閣で開かれ、深澤晟雄の会など関係者35人が集まって、支援会議の組織体制や支援活動のあり方について話し合われました。

出し、副会長以下の役員は次のとおり。
副会長 太田祖電(製作・上映運動を成功させる岩手の会会長)
同 早川久衛(西和賀町観光協会会長)
事務局長 高橋典成
完成上映会は10月



劇映画「いのちの山河」の夏ロケ撮影再開を前に開催された西和賀支援会議設立総会。(7月1日ホテル対龍閣)



6月27日は深澤晟雄の会が「病院感謝デー」として病院周辺の草刈り奉仕作業を行いました。呼びかけに応じて草刈機持参の男性7人、草集めや除草の女性4人が参加し、午後1時30分から3時ごろまでの作業で敷地内の草刈りを完了しました。7月にも関係団体と連携して行う予定です。

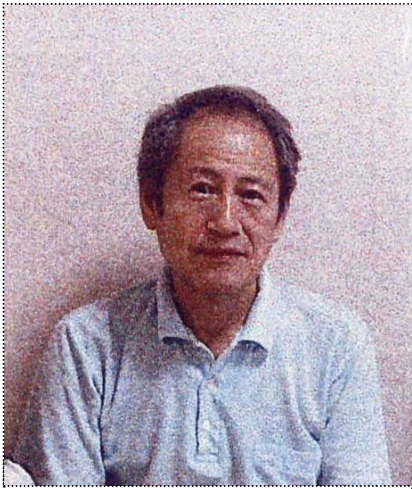
病院の草刈り奉仕

上映会・講演会等の開催、全国上映運動の推進などをあげています。
西和賀町で封切となる完成披露上映会は10月1日と2日の両日、銀河ホールで予定されています。また、再開される映画の撮影(夏ロケ)は7月16日から8月9日まで行われ、9月末には完成予定です。

製作協力券販売中
劇映画「いのちの山河」の製作協力券は深澤晟雄資料館にもあります。1枚千円ですが、西和賀町はもちろん、全国各地の上映会で入場鑑賞券として利用できます。
月曜日休館以外の9時から17時までの時間内にお求め下さい。

映画やテレビで感動した西和賀へ贈りもの

東京在住のお二人から「映画やテレビで感動した」と西和賀に温かい心を込めた贈りものがありました。最高裁退職者の植島幹四郎さんはテレビ放映内容を文字化して資料館に、フォークシンガーの小林啓子さんは念願の来町を実現してコンサートを開いてくれました。



最高裁退職者の会会長

植島幹四郎さん (76 歳)

植島さんは昭和 29 年に最高裁判所に入り、地方裁判所などを経て平成 8 年に退職。現在は戦争体験を語る千束の会会長、最高裁退職者の会会長を勤めている。

映像のすべてを文章に

最高裁退職者会長の植島さん

植島さんの文字化資料に添えたお手紙を紹介します。

2007年9月19日NHKで放映された「その歴史が動いたく赤ちゃんを死なせないく」を観て大変感動しました。生命尊重行政を推進した深澤晟雄村長の思想を広め、伝承するため放映された内容を文字化して、私の地元の戦争体験を語る千束の会や最高裁退職者の会会員に配布しました。音声にならない映し出された看護日誌や字幕文字等

もできる限り文字化しました。そのパンフを送りますので増刷りや資料館名で印刷したりして観覧者に配布するなどご活用ください。

昨年10月21日、裁判所退職者の会全国集会が開かれた折、たまたま、後期高齢者医療制度を巡る雑談で私が深澤村長の話をしたところ、臨席の岩手代表の婦人から深澤晟雄資料館の開設の話を知られました。折を見て私も資料館を見学したいと思っています。

感動交流のコンサート

フォークシンガーの小林さん



フォークシンガー 小林啓子さん (61 歳)
全国公演の合い間に来町した小林さんは、町内 2 か所で公演。感動分け合うコンサートとなりました。

6月19日、沢内第一小学校でフォークシンガー小林啓子さんを招いて「心のふれあいコンサート」が開かれました。小林さんは「故郷」「世界に一つだけの花」など7曲を豊かな声量で、児童や父母ら約100人を魅了しました。

小林さんのブログによると、映画「いのちの作法」に感動し「沢内へ行きたい」と友人に相談したら思わぬ早さでOKが出て念願の沢内へ。空気は美味しい！。そ

何て贅沢な環境かな。そして深澤晟雄資料館へ。深澤村長のポリシーに逆行する今の政治！。だからこそこの資料館はとても大切！。

学校でのコンサートで、お返しに全校児童で「深澤晟雄を讃える歌」を歌ってくれたことに感動！。翌日、5年生の優明ちゃんから「啓子さんの歌は人を動かせるすごい力を持っています。私が大人になったら啓子さんのような温かく・優しい人になります」という手紙もうれしかった。な

どと感想を述べています。